

全市域污水適正処理基本構想

全市域污水適正処理基本構想とは

污水处理施設の整備を計画的、効率的に実施し、快適な生活環境の実現と、海や河川等の水質保全を図っていくため、地域の特性に応じた污水处理施設の整備方針を示したもので、整備を進めていく上での指針となるものです。

整備方針の考え方

家屋等が密集している地区では、効率よく下水道管に污水を集めることができるため、下水道等で集合処理する方針が適していますが、家屋がまばらな地区では、各家庭で合併処理浄化槽を設置して個別処理する方針が適しています。

整備手法の選定

全市域の水洗化を目標に定め、その地域に応じた整備手法を選定しました。集合処理では、「公共下水道事業」及び「農業集落排水事業」を選定し、個別処理では、「合併処理浄化槽設置整備事業」を選定しました。これらの3事業が一体となって、污水处理施設整備を推進しています。

全市域污水適正処理基本構想図

